

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	大阪大学	申請大学長名	平野 俊夫
申請類型	複合領域型（多文化共生社会）	プログラム責任者名	星野 俊也
整理番号	L02	プログラムコーディネーター名	志水 宏吉
プログラム名	未来共生イノベーター博士課程プログラム		

## <プログラム進捗状況概要>

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

本事業の目的は、5年間の首尾一貫したコンセプトとカリキュラムのもとで、国際的および国内的な文脈における「多文化共生社会の実現」を導くグローバル人材（＝未来共生イノベーター）を輩出することにある。未来共生イノベーターとは、自らのコアとなる専門分野で博士レベルの高度で専門的な知識を有するとともに、他者に対する深い理解をともなう敬意（respect）にもとづき、共通の未来に向けた斬新な共生モデルを創案・実現できる知識・技能・態度・行動力を備えた実践家・研究者のことである。このプログラムは、本学全体の研究・教育を統括する目的から設置された大阪大学未来戦略機構の第五部門という位置づけを有しており、「地域に生き、世界に伸びる」とモットーとする本学の今後の研究・教育を先導する役割を期待されている。

### 2. プログラムの進捗状況

本プログラムは順調な進展を遂げている。まず、平成25年度からの履修生の迎え入れおよび教育プログラムのスタートのために、学内外の約50名をプログラム担当者とし、その中心に運営統括会議を組織した。そして、そのもとに「財務・人事」「選抜・審査」「評価・広報」「教務」「学生支援」「国際連携」「産官学連携」の7つのワーキンググループを設置し、準備の仕事を進めた。併せて、事業の効率的・効果的推進のために、合計で13名の特任教員（教授3、准教授1、助教9）を雇用し、それぞれの担当分野で専門性を発揮してもらっている。さらに、「プラクティカルワーク」というカリキュラム上の位置づけで、さまざまな現場・フィールドにおける学習・社会活動を重視する本プログラムの事業を幅広く展開するために、国内外1か所ずつ（国内：岩手県野田村、国外：インドネシアのガジャマダ大学）にサテライトオフィスを開設した。

平成25年2月から3月にかけて選抜を行い、34名の志願者の中から、留学生2名をふくむ17名（6研究科に所属）の第一期生を決定した。4月からの授業スタートを待つばかりとなっている。